

科目名		電気通信の法規			
担当教員		清野 貴久		実務授業の有無	
対象学科		電気電子工学科	対象学年		1
必修・選択		必修	単位数		
			開講時期		後期
			時間数		32時間
授業概要、目的、授業の進め方		1. 電気通信事業法や端末設備、工担者規則の法規をしっかり理解する。 2. 工事担当者の仕事の重要性を理解する。 3. 工事責任者DD3種 筆記試験【端末設備に関する法規】対策。 4. 座学→模擬試験→解答と解説を繰り返し行い、合格基準の到達を目指す。			
学習目標 (到達目標)		・電気通信のための工事担任者DD3種の資格試験の各種法規に関する習得レベルが合格基準に達することを目標とする。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		工事担任者 DD3種標準テキスト リックテレコム			
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	法令とは ・法令はなぜ必要なのか ・ルールと義務 ・法令順守と罰則		方法：教科書とプリントを使って説明 達成目標：法令の見方や考え方の理解。 準備学習：工事担任者DD3種標準テキスト「端末設備の接続に関する法規」第1章を予習		
2	電気通信事業法 ・電気通信事業とは ・端末設備の接続等		方法：教科書とプリントを使って説明 達成目標：電気通信事業法の理解。 準備学習：工事担任者DD3種標準テキスト「端末設備の接続に関する法規」第1章を予習		
3	各種法規 ・工事担任者規則 ・端末機器の技術基準 ・有線電気通信法 ・有線電気通信設備令 ・不正アクセス禁止法		方法：教科書とプリントを使って説明 達成目標：各種法令の理解。 準備学習：工事担任者DD3種標準テキスト「端末設備の接続に関する法規」第2章を予習		
4	端末設備等規則 ・総則 ・責任分界と安全		方法：教科書とプリントを使って説明 達成目標：端末設備全般の理解。 準備学習：工事担任者DD3種標準テキスト「端末設備の接続に関する法規」第3章を予習		
5	期末テスト ・工事担任者DD3種試験の内容でテスト		方法：工事担任者DD3種過去問題より出題 達成目標：工事担任者DD3種試験過去問題60点以上。 準備学習：工事担任者DD3種標準テキスト「端末設備の接続に関する法規」第1章～3章を復習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
期末試験、平常点と必要に応じて提出を求めるレポートを総合的に判断して評価する。 定期等試験90% レポート5% 平常点5% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			理論を十分理解したうえで、授業を取り組む。 特に電気通信に関する法規項目の合格レベル習得を目指す。間違いやすい内容については繰り返し理解度確認を行う。		
実務経験教員の経歴					